

「エコプロ2018」に出展しました！

地球環境基金は、昨年12月6～8日に東京ビッグサイトで開催された「エコプロ2018」に出展。エコプロ来場者は3日間で16万2千人を超え、地球環境基金ブースにも多くの方々にお立ち寄りいただきました。

地球環境基金ブースでは、一昨年に引き続き「助成団体活動報告会」を実施し、助成3年目となる63団体が活動の成果発表を行いました。前回より2倍近く報告会のスペースを広げ、多くの方々に助成活動をお伝えすることができました。

イベントステージでは、「地球をまもる人になる～地球環境基金若手プロジェクトリーダー成果報告会～」を開催しました。「若手プロジェクトリーダー育成プログラム」の3期生9名が「プ

ロジェクトリーダーとしての活動成果」「団体と個人のこれから」「会場の皆様に向けたメッセージ」の3つのテーマで発表を行い、それぞれの熱い想いを披露しました。会場からは、「環境保全のために行動をおこす事の大切さを感じました」「私も同じ若手として何か行動をおこしたいと思いました」といった共感の声をいただきました。



地球環境基金ブース「助成団体活動報告会」の様子



「環境クイズ」も実施しました

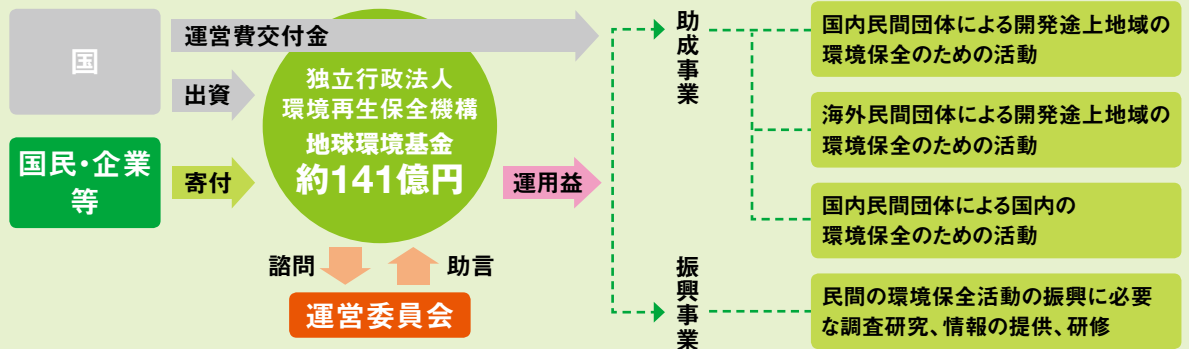


イベントステージ「若手プロジェクトリーダー成果報告会」



地球環境基金とは

環境再生保全機構は、国の出資金と民間からの寄付金により「地球環境基金」を設け、その運用益と国からの運営費交付金により、国内外の民間団体(NGO・NPO)が行う環境保全活動へ支援を行っています。



若い世代からベテラン世代までともに森林を整備する

表紙写真

若者が主体となって森林・里山の保全活動に取り組む「トチキ環境未来基地」(本誌6ページ参照)。ボランティア参加者の半分以上が森林の整備作業は初めてで、ときには海外からの参加者もありますが、経験・年齢・言語の違いを乗り越えて充実した活動を実践しています。

編集後記

今号のテーマは「環境保全活動の現場に來たれ！若者たち」。不純な動機でも、たまの参加でも、いろんな個性を尊重し受け入れる。その多様性が活動の幅を広げ、個々の可能性も広げてくれる。草野さんのお話を聞いて、そんなNPOなら若者でなくても参加したくなりました。

FOLLOW ME!

Instagram



@erca_kikin

Twitter



@ERCA_kikin

地球環境基金 便り

第46号 2019年(平成31年)3月1日号

発行/独立行政法人環境再生保全機構 地球環境基金部基金管理課
 URL:https://www.erca.go.jp/jfge/ E-mail:c-kikin@erca.go.jp
 〒212-8554 神奈川県川崎市幸区大宮町1310番 ミューザ川崎セントラルタワー8F
 TEL:044(520)9606 FAX:044(520)2192 編集協力/株式会社東京法規出版



独立行政法人 環境再生保全機構

